

日本保健物理学会 新 Newsletter 2018年2月14日号

送信者:一般社団法人日本保健物理学会<exec.off@jhps.or.jp> 2018/02/14 12:34:37

日本保健物理学会 新 Newsletter 2018年2月14日号

1. 学会関連情報

○日本保健物理学会第51回研究発表会(6月29日(金)~30日(土)、ホテルライフォート札幌)

発表申込期限が2月23日(金)に延長されました。要旨原稿提出期限は4月9日(月)

<http://www.jhps.or.jp/jhps51/index.html>

○日本保健物理学会シンポジウム I、II、III 事前申込開始しました。

(3月19日(月)~20日(火)、東京大学工学部2号館221)

参加ご希望の方は、資料準備の都合により3月16日までに、日本保健物理学会事務局(exec.off アット jhps.or.jp)へメールにてお申し込みください。アットは@に変換して下さい。ミニ懇親会3月19日18時~20時(予定)への申込みも受け付けております。

シンポジウム I (3月19日 13:30~17:00)

「福島事故後の内部被ばくの課題の解決に向けて ー不溶性粒子と短半減期核種ー」

シンポジウム II (3月20日 9:30~12:00)

「原子力・医療従事者等の標準的な水晶体の等価線量モニタリング、適切な管理・防護はどうあるべきか? ~水晶体被ばくの実態から探る~」

シンポジウム III (3月20日 13:30~16:30) 「低線量率放射線リスクの推定における論点と課題」

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/news/page.cgi?id=96>

○「水晶体の線量限度に関する専門委員会」報告書が学会 website に掲載されました。

http://www.jhps.or.jp/upimg/files/20180206_report_10.1.pdf

2. 関連する研究動向

○ICRP Publication 137 「Occupational Intakes of Radionuclides: Part 3」刊行

<http://www.icrp.org/publication.asp?id=ICRP%20Publication%20137>

(論文情報)

○Int J Radiat Biol. 2月6日に電子版先行掲載 (doi:10.1080/09553002.2018.1437483).

国際放射線防護委員会(ICRP)は、線量・線量率効果係数(DDREF)を線量効果係数(LDEF)と線量率効果係数(DREF)にわけることを提案している。昨年、ICRP タスクグループ91(TG91)は、DREFの解析結果を発表したところである(<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/28421857>)。この解析とは独立して、本論文では、原子力作業における12の死亡率研究について解析し、原爆被ばく者寿命解析(LSS)に対するDREFを推定した。DREF = 2が最良推定値であるが、ロシアのマヤック作業者の影響が大きいため、注意が必要であると結論づけた。

Nuclear Epidemiologic Studies and the Estimation of DREF : Hoel DG

<http://www.tandfonline.com/doi/abs/10.1080/09553002.2018.1437483>

○J Radiat Res. 2月8日に電子版先行掲載 (doi: 10.1093/jrr/rrx093).

ICRPのTG91は、線量・線量率効果係数(DDREF)を含め、低線量・低線量率のリスク推定について検討している。

本論文では、TG91がこれらの検討に用いている細胞と動物の生物学研究、ヒトでの疫学研究における線量・線量率についてまとめている。本邦が、放射線防護に直接関係するような範囲の線量・線量率で動物実験を実施していることについても記されている。

Typical doses and dose rates in studies pertinent to radiation risk inference at low doses and low dose rates : Ruhm W et al

<https://doi.org/10.1093/jrr/rrx093>

○Sci Rep. 2018(1):1892

FDNPP事故由来のPu同位体が海水に及ぼす影響を調査するために、SF-ICP-MSを用いた海水中のPu同位体の迅速分析法を開発した。2013年7月に太平洋北西領域のFDNPPから446?1316?kmで採取した海水を調査したところ、u239+240の放射能及びPu240/Pu239の比に事故以前と違いは見られなかった。

Establishing rapid analysis of Pu isotopes in seawater to study the impact of Fukushima nuclear accident in the Northwest Pacific : Wu Men et al

<https://www.nature.com/articles/s41598-018-20151-4>

3. ニュースや社会の動き

○米国放射線防護審議会(NCRP) 次期会長の公募を開始(現会長のJohn Boice Jrは、2018年末で辞任予定)

http://ncrponline.org/wp-content/themes/ncrp/PDFs/2018/President_ad.pdf

○原子力規制委員会

・第544回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合(2月2日)の配布資料を公開

「泊発電所の敷地の地質、島根原子力発電所の地震動評価について」

https://www.nsr.go.jp/disclosure/committee/youshikisyu/tekigousei/power_plants/00000165_2.html

・第65回原子力規制委員会(2月7日)の配布資料を公開

「高浜、川内原子力発電所の審査結果案のとりまとめ」と「原子力事業者防災訓練の改善の方向性について」

<https://www.nsr.go.jp/disclosure/committee/kisei/00000307.html>

○早稲田大学など 陽子線が体内で起こす核反応を光で可視化 陽子線治療の精度向上に大きく貢献

<http://www.qst.go.jp/information/itemid034-003739.html>

4. これからのイベント

○IAEA「International Symposium on Communicating Nuclear and Radiological Emergencies to the Public」

開催(10月1~5日、ウィーンIAEA本部)

シンポジウム website :

<https://www.iaea.org/events/communicating-nuclear-and-radiological-emergencies-symposium-2018>

Call for Papers (募集要項) :

https://www.iaea.org/sites/default/files/18/01/cn-265-announcement_and-call-for-papers.pdf

○原子力人材育成ネットワーク 第2回原子力施設見学会(関西)

(3月6日、若狭湾エネルギー研究センター、美浜発電所、申込締切:2月15日)

http://jn-hrd-n.jaea.go.jp/material/seminar/20180130-nucl_faci_tour_2nd_kansai.pdf

○(再掲)日本アイソトープ協会「第55回アイソトープ・放射線研究発表会」発表申込受付中(締切:2月28日)

(7月4-6日、東京大学弥生講堂)

https://www.jrias.or.jp/isotope_conference/index.html

○早稲田大学レジリエンス研究所 第7回原子力政策・福島復興シンポジウム

「東日本大震災と福島原発事故から7年～原子力バックエンド問題と福島復興の今後のあり方を考える～」

(3月7日 早稲田大学早稲田キャンパス19号館(早稲田大学西早稲田ビル)7階・710教室)

<http://www.waseda.jp/prj-matsuoka311/material/nuksympooutline2017.pdf>

○島根大学研究・学術情報機構 戦略的研究推進センター ヒッグス・初期宇宙プロジェクトセンター講演会

講師:梶田隆章氏(2015年ノーベル物理学賞受賞)「神岡の地下から探る宇宙と素粒子ーニュートリノと重力波ー」(2月17日、島根県立産業交流会館(くにびきメッセ)国際会議場、申込締切:2月16日まで延長)

<http://www.shimane-u.ac.jp/docs/2017121100074/>

5. 公募情報、学生・ポスドク受入情報

○東京大学アイソトープ総合センター 特任助教募集(締切:2月16日必着)

<http://www.ric.u-tokyo.ac.jp/20180131.html>

○日本原子力研究開発機構 研究系・技術系職員募集(キャリア採用)

核燃料サイクル工学研究所環境技術開発センター 研究系職員(締切:2月23日必着)

物質科学研究センター 女性研究系職員(締切:2月23日必着)

人形峠環境技術センター 女性研究系職員(締切:2月23日必着)

J-PARCセンター 女性技術系職員(締切:2月23日必着)

研究連携成果展開部女性技術系職員(締切:2月23日必着)ほか

<https://www.jaea.go.jp/saiyou/career/>

○高エネルギー加速器研究機構

素粒子原子核研究所 教授、准教授、助教募集(締切:2月28日17:00必着)

物質構造科学研究所 博士研究員(常勤)(締切:2月26日17:00必着)

共通基盤研究施設 准教授（締切：3月5日17:00必着）、博士研究員（締切：2月16日17:00必着）

<https://www.kek.jp/ja/Jobs/>

○量研機構放射線医学総合研究所 脳機能イメージング研究部 任期制常勤職員（研究職・研究員）募集
（締切：2月28日必着）

http://www.qst.go.jp/Portals/0/pdf/recruit/JP/NIRS/29nirs_123.pdf

○原子力規制委員会行政職員公募

事務系（締切：3月21日（同日の消印まで有効）） https://www.nsr.go.jp/nra/employ/koubo_jimu.html

技術系（締切：3月18日（同日の消印まで有効）） https://www.nsr.go.jp/nra/employ/koubo_tech.html

既発行の新 Newsletter はこちらです。

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/newsletter/page.cgi>

新 Newsletter にて発信を希望する情報をお持ちの方は、学会事務局へご連絡・お問い合わせください。

【発行】一般社団法人日本保健物理学会

【編集】同企画委員会

【発信元】同学会事務局

TEL: 03-6205-4649 FAX: 03-6205-4659

E-mail: exec.off@jhps.or.jp
